



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場会社名 アルプスアルパイン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6770 URL <https://www.alpsalpine.com/j/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 最高経営責任者 (氏名) 泉 英男

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 専務執行役員 最高執行責任者 (氏名) 小平 哲 TEL 050(3613)1581
兼 最高財務責任者

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|-----|--------|-------|--------|-------|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期第3四半期 | 740,616 | 0.7 | 25,295 | 22.9 | 24,459 | 2.2 | 9,912 | - |
| 2024年3月期第3四半期 | 735,359 | 5.0 | 20,583 | △40.2 | 23,932 | △34.8 | △20,376 | - |

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 20,953百万円(-%) 2024年3月期第3四半期 △8,019百万円(-%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|--------------|------------------------|
| 2025年3月期第3四半期 | 円 銭 48.20 | 円 銭 48.20 |
| 2024年3月期第3四半期 | △99.13 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|----------------|----------------|-----------|-----------------|
| 2025年3月期第3四半期 | 百万円 733,158 | 百万円 405,013 | % 55.0 | 円 銭 1,961.22 |
| 2024年3月期 | 753,989 | 392,824 | 51.9 | 1,902.43 |

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 403,330百万円 2024年3月期 391,108百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|--------------|----------|--------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2024年3月期 | 円 銭 - | 円 銭 20.00 | 円 銭 - | 円 銭 10.00 | 円 銭 30.00 |
| 2025年3月期 | - | 30.00 | - | - | - |
| 2025年3月期(予想) | - | - | - | 30.00 | 60.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 980,000 | 1.7 | 28,000 | 42.1 | 24,000 | △3.3 | 32,000 | - | 155.62 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2025年3月期3Q | 219,281,450株 | 2024年3月期 | 219,281,450株 |
| 2025年3月期3Q | 13,628,540株 | 2024年3月期 | 13,698,507株 |
| 2025年3月期3Q | 205,629,674株 | 2024年3月期3Q | 205,550,132株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

2025年1月31日 (金) に当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 6 |
| (第3四半期連結累計期間) | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (会計方針の変更に関する注記) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等の注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 8 |
| (重要な後発事象) | 9 |
| 3. その他 | 12 |
| 役員の異動 | 12 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社は日本をはじめ北米、欧州、中国、その他アジアを中心に23の国と地域に186拠点をもち、約40,000種類の製品・サービスを車載市場、モバイル市場、民生市場向けに販売しています。車載市場は、主に日本・北米・欧州の大手自動車メーカー向けに直接販売するTier1ビジネスを中心に、世界中の自動車部品メーカー向けに販売するTier2ビジネスも行っています。モバイル市場は、大手スマートフォンメーカーをはじめ、その他モバイル関連製品を扱う顧客にも販売を行っています。また、民生市場は、自動車やモバイル製品以外のパソコン、家電、ゲーム機器や一部産業機器等のメーカーに販売しています。

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、円安による売上高及び営業利益への押し上げ効果に加え、車載市場では、新車販売がグローバルで増加基調にある中、パワートレイン構成の変化や中国資本の自動車メーカーの拡大により新規顧客の開拓や採用製品の増加によるTier2ビジネスが増加しています。一方で、当社主要顧客である日本・北米・欧州の自動車メーカー向けであるTier1ビジネスの低迷が続いています。モバイル市場では、大手スマートフォンメーカー向けが堅調です。民生市場では、ゲーム機器向けやその他電子部品の需要が拡大しています。

当第3四半期連結累計期間における経営成績の概況については以下のとおりです。なお、下記に示す売上高は外部顧客に対する売上高であり、報告セグメント間売上高は内部取引売上高として消去しています。

セグメントの状況

<コンポーネント事業>

売上高は、円安による押し上げ効果のほか、民生市場向け製品やモバイル市場向け製品の需要及び車載市場向け製品の拡販により増加しました。営業利益は、円安や売上高の増加が寄与し増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるコンポーネント事業の売上高は2,689億円（前年同期比11.0%増）、営業利益は263億円（前年同期比34.2%増）となりました。

<センサー・コミュニケーション事業>

売上高は、車載市場向け製品が従来モデルのキーレスエントリーシステム製品からデジタルキー製品への置き換えによる端境期にあり減少する一方で、円安による押し上げ効果やモバイル市場向け製品の需要が増加し事業全体では増加しました。営業利益は、円安や売上高の増加があったものの、開発費が増加し、前年同期比で減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるセンサー・コミュニケーション事業の売上高は651億円（前年同期比4.4%増）、営業損失は17億円（前年同期における営業損失は11億円）となりました。

<モジュール・システム事業>

売上高は、円安による押し上げ効果があったものの、システム製品の欧州向けモデル終息や中国市場における当社主要顧客である日本・北米・欧州自動車メーカーの低迷により減少しました。営業利益は、前連結会計年度の減損損失により減価償却費が軽減されたことや変動費の改善があったものの、売上高の減少や賃金の上昇等により減少しました。なお、当事業は、売上高の外貨取引額が原価の外貨取引額でほぼ相殺されるため、為替影響を受けにくい利益構成となっています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるモジュール・システム事業の売上高は3,913億円（前年同期比5.9%減）、営業損失は1億円（前年同期における営業利益は7億円）となりました。

以上により、上記の3事業セグメントにその他を加えた当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高7,406億円（前年同期比0.7%増）、営業利益252億円（前年同期比22.9%増）、経常利益244億円（前年同期比2.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益99億円（前年同期における親会社株主に帰属する四半期純損失は203億円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末と比べ208億円減少の7,331億円、自己資本は122億円増加の4,033億円となり、自己資本比率は55.0%となりました。

流動資産は、現金及び預金、その他流動資産の減少と、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末と比べ241億円減少の4,673億円となりました。

固定資産は、機械装置及び運搬具、工具器具備品及び金型の増加と、無形固定資産の減少等により、前連結会計年度末と比べ32億円増加の2,658億円となりました。

流動負債は、その他流動負債、未払費用の減少等により、前連結会計年度末と比べ153億円減少の2,324億円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末と比べ177億円減少の957億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月30日に発表した連結業績予想について、円安による押し上げ効果のほか、コンポーネント事業におけるモバイル市場向け製品が想定より好調に推移する見通しになったことや、モジュール・システム事業における当社主要顧客の新車販売の苦戦が長期化する見通しになったことによる売上高と営業利益の変化、為替変動による経常利益の変化を反映し、連結業績予想を修正します。

第4四半期連結会計期間の為替レートは、1米ドル=150.0円、1ユーロ=160.0円、1人民元=21.0円にて試算しています。

なお、業績予想には、現時点で入手可能な将来予測に基づく情報が含まれています。今後も為替の変動、各市場の需要増減等の不確定要素により、実際の業績が業績予想と大幅に異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 122,667 | 102,549 |
| 受取手形及び売掛金 | 158,584 | 169,333 |
| 商品及び製品 | 83,170 | 81,537 |
| 仕掛品 | 20,861 | 21,027 |
| 原材料及び貯蔵品 | 59,684 | 61,159 |
| その他 | 46,783 | 33,419 |
| 貸倒引当金 | △292 | △1,692 |
| 流動資産合計 | 491,458 | 467,334 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 132,858 | 135,786 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △95,237 | △98,670 |
| 建物及び構築物(純額) | 37,620 | 37,115 |
| 機械装置及び運搬具 | 340,660 | 359,856 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △292,818 | △305,704 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 47,841 | 54,152 |
| 工具器具備品及び金型 | 156,404 | 158,677 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △143,809 | △144,254 |
| 工具器具備品及び金型(純額) | 12,594 | 14,423 |
| 土地 | 19,132 | 17,962 |
| 建設仮勘定 | 17,022 | 18,543 |
| 有形固定資産合計 | 134,211 | 142,197 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 26,551 | 22,599 |
| 投資有価証券 | 71,804 | 72,722 |
| 繰延税金資産 | 16,978 | 15,345 |
| 退職給付に係る資産 | 148 | 365 |
| その他 | 12,878 | 14,348 |
| 貸倒引当金 | △42 | △1,755 |
| 投資その他の資産合計 | 101,768 | 101,027 |
| 固定資産合計 | 262,531 | 265,823 |
| 資産合計 | 753,989 | 733,158 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 93,964 | 96,207 |
| 短期借入金 | 50,463 | 48,764 |
| 未払費用 | 17,970 | 14,936 |
| 未払法人税等 | 8,671 | 7,674 |
| 賞与引当金 | 9,340 | 7,539 |
| 製品保証引当金 | 9,807 | 9,429 |
| その他の引当金 | 1,470 | 1,999 |
| その他 | 56,023 | 45,856 |
| 流動負債合計 | 247,711 | 232,406 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 78,838 | 58,517 |
| 繰延税金負債 | 17,592 | 19,109 |
| 退職給付に係る負債 | 13,850 | 13,199 |
| 役員退職慰労引当金 | 82 | 72 |
| 環境対策費用引当金 | 634 | 796 |
| その他 | 2,456 | 4,042 |
| 固定負債合計 | 113,453 | 95,738 |
| 負債合計 | 361,165 | 328,144 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 38,730 | 38,730 |
| 資本剰余金 | 124,138 | 123,872 |
| 利益剰余金 | 184,350 | 186,037 |
| 自己株式 | △28,365 | △28,219 |
| 株主資本合計 | 318,853 | 320,419 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 24,393 | 24,512 |
| 土地再評価差額金 | △496 | △496 |
| 為替換算調整勘定 | 54,599 | 64,539 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △6,242 | △5,643 |
| その他の包括利益累計額合計 | 72,254 | 82,911 |
| 新株予約権 | 67 | 5 |
| 非支配株主持分 | 1,648 | 1,676 |
| 純資産合計 | 392,824 | 405,013 |
| 負債純資産合計 | 753,989 | 733,158 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) |
|---------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 売上高 | 735,359 | 740,616 |
| 売上原価 | 605,053 | 610,098 |
| 売上総利益 | 130,305 | 130,518 |
| 販売費及び一般管理費 | 109,721 | 105,222 |
| 営業利益 | 20,583 | 25,295 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,095 | 1,408 |
| 受取配当金 | 754 | 1,328 |
| 持分法による投資利益 | 1,514 | — |
| 為替差益 | 437 | — |
| その他 | 1,943 | 708 |
| 営業外収益合計 | 5,745 | 3,446 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 652 | 807 |
| 持分法による投資損失 | — | 519 |
| 為替差損 | — | 992 |
| 貸倒引当金繰入額 | 11 | 839 |
| 外国源泉税 | 804 | 508 |
| その他 | 927 | 613 |
| 営業外費用合計 | 2,396 | 4,281 |
| 経常利益 | 23,932 | 24,459 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 257 | 53 |
| 投資有価証券売却益 | 682 | 218 |
| 為替換算調整勘定取崩益 | — | 199 |
| その他 | — | 91 |
| 特別利益合計 | 939 | 562 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 380 | 372 |
| 減損損失 | 36,205 | 2,854 |
| 特別退職金 | — | 298 |
| その他 | 89 | 101 |
| 特別損失合計 | 36,675 | 3,627 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △11,803 | 21,394 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 10,832 | 7,517 |
| 法人税等調整額 | △2,494 | 3,641 |
| 法人税等合計 | 8,338 | 11,159 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △20,142 | 10,235 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △20,376 | 9,912 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 234 | 323 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,501 | 115 |
| 為替換算調整勘定 | 12,539 | 9,795 |
| 退職給付に係る調整額 | 767 | 589 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 316 | 217 |
| その他の包括利益合計 | 12,122 | 10,717 |
| 四半期包括利益 | △8,019 | 20,953 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △8,335 | 20,569 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 316 | 384 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっています。なお、これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(連結子会社の工場閉鎖による特別損失の発生)

当第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であるALPS ELECTRIC (MALAYSIA) SDN. BHD.のジェンカ工場の閉鎖を決定しました。これに伴い従業員に対する割増退職金の支払額を特別退職金として特別損失に計上しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期 連結財務諸 表計上額 (注)3 |
|-------------------|---------------|--------------------------|------------------|---------|-------------|---------|-------------|------------------------------|
| | コンポーネ ント事業 | センサー・コ ミュニケーシ ョン事業 | モジュール・シ ステム事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 242,307 | 62,412 | 416,005 | 720,725 | 14,633 | 735,359 | - | 735,359 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 197 | 16 | 27 | 241 | 8,632 | 8,874 | △8,874 | - |
| 計 | 242,504 | 62,429 | 416,033 | 720,967 | 23,265 | 744,233 | △8,874 | 735,359 |
| セグメント利益又は損失(△) | 19,629 | △1,107 | 737 | 19,260 | 1,455 | 20,716 | △132 | 20,583 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システムの開発、オフィスサービス、金融・リース事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△132百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

| | コンポーネ ント事 業 | センサー・コ ミュニケーシ ョン事業 | モジュール・シ ステム事業 | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|-------------------|--------------------------|------------------|-----|-------|--------|
| 減損損失 | 82 | 1,452 | 34,671 | - | - | 36,205 |

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期 連結財務諸 表計上額 (注) 3 |
|-------------------|---------------|--------------------------|----------------------|---------|--------------|---------|--------------|-------------------------------|
| | コンポーネ ント事業 | センサー・コ ミュニケーシ ョン事業 | モジュー ル・システ ム事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 268,987 | 65,144 | 391,386 | 725,518 | 15,097 | 740,616 | — | 740,616 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 224 | 17 | 26 | 269 | 7,678 | 7,948 | △7,948 | — |
| 計 | 269,212 | 65,162 | 391,413 | 725,788 | 22,776 | 748,564 | △7,948 | 740,616 |
| セグメント利益又は損失(△) | 26,344 | △1,750 | △131 | 24,462 | 873 | 25,336 | △40 | 25,295 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システムの開発、オフィスサービス、金融・リース事業等を含んでいます。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△40百万円は、セグメント間取引消去です。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位: 百万円)

| | コンポーネ ント事 業 | センサー・コ ミュニケーシ ョン事業 | モジュール・シ ステム事業 | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|-------------------|--------------------------|------------------|-----|-------|-------|
| 減損損失 | 219 | 0 | 618 | — | 2,016 | 2,854 |

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) |
|-------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 減価償却費 | 31,496百万円 | 26,076百万円 |

(重要な後発事象)

(持分法適用関連会社であるアルプス物流に対する持分の一部売却)

当社は、2024年5月9日付の取締役会決議に基づき、ロジスティード株式会社（以下「ロジスティード」）及びロジスティードが発行済株式の全てを所有するLDEC株式会社（以下「公開買付者」）との間で、当社の持分法適用関連会社である株式会社アルプス物流（以下「アルプス物流」）の普通株式（以下「アルプス物流株式」）の売却等に関する取引基本契約（以下、取引基本契約に定めた一連の取引を「本取引」という）を締結し、2025年1月30日付で本取引が完了しました。

(1) 本取引の目的及び概要

当社は、2022年4月に公表した第2次中期経営計画（2022年4月～2025年3月）において、事業ポートフォリオ改革や事業構造の良質化と成長領域への集中投資、注力事業の収益体質を強化するとともに、ノンコア事業の見直し等を含むコスト構造改革を行うことを掲げ、資本コストや株価を意識した経営の実現及びグループ全体の企業価値向上に向けて取り組んできました。かかる取り組みの一環として、当社が保有するアルプス物流株式を第三者へ譲渡し、アルプス物流株式を非公開化した上で、アルプス物流としてシナジー創出を通じたさらなる成長・飛躍を実現できる新たなパートナーとともに成長を目指すことが、当社とアルプス物流双方の企業価値向上に向けて望ましいとの判断に至りました。

本取引の概要は以下のとおりです。

- ①公開買付者がアルプス物流株式に対する公開買付け（以下「本公開買付け」）を実施すること、当社及び当社の完全子会社であるアルパイン株式会社が所有するアルプス物流株式の全てについて本公開買付けに応募しないこと
- ②本公開買付けの成立後に、アルパイン株式会社が所有するアルプス物流株式の全てを吸収分割の方法により当社に承継させた上で、アルプス物流がその株主を当社及び公開買付者のみとするための株式併合を実施すること
- ③株式併合の効力発生を条件として、アルプス物流が実施する自己株式取得に応じて当社が所有するアルプス物流株式の全てを707億円で売却すること（以下「本自己株式取得」）
- ④本自己株式取得に先んじて当社が公開買付者に対して本自己株式取得に係る代金支払請求権の一部の現物出資を行い、公開買付者の株式（議決権比率20%）を307億円で取得すること

この結果、アルプス物流に対する持分比率は20%となり、引き続き持分法適用関連会社になります。

(2) 当該持分法適用関連会社の名称及びその事業の内容

| | | |
|-----|-----------|------------------------|
| (1) | 名称 | 株式会社アルプス物流 |
| (2) | 所在地 | 神奈川県横浜市港北区新羽町1756番地 |
| (3) | 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 社長執行役員 寺寄 秀昭 |
| (4) | 事業内容 | 電子部品物流事業・商品販売事業・消費物流事業 |
| (5) | 資本金 | 2,357百万円 |

(3) 本取引に伴う当社業績への影響

本取引完了に伴い、2025年3月期の連結財務諸表において270億円の特別利益を計上する見込みです。

(パワーインダクター事業の譲渡(承継))

当社は、2024年8月29日開催の取締役会において、当社パワーインダクター事業を、DELTA ELECTRONICS INC. グループ(以下「デルタグループ」。本社：台湾 台北市、会長兼CEO：鄭平)に譲渡すること(以下「本件事業譲渡」)を決議し、デルタグループの日本法人であるデルタ電子株式会社(以下「デルタ電子」。本社：東京都港区、代表取締役：華健豪)との間で当該事業の譲渡(承継)に関する最終契約(以下「最終契約」)を締結しました。

最終契約に基づく当該事業の譲渡(承継)を実行するために、当社が保有するEコア事業及びトロイダルコアの製造販売事業を除いた、パワーインダクター及びその製造に使用される粉末化された素材であるリカロイTMその他の磁性材料の製造、販売、研究開発に関する事業(以下「本承継対象事業」)を、デルタ電子との間で吸収分割契約を締結し(以下「本契約」)承継を行いました(以下「本吸収分割」)。

以上に関して、当社は、2024年9月27日開催の取締役会において、本吸収分割について決議し、2025年1月6日付で譲渡(承継)が完了しました。

(1) 本吸収分割の目的及び概要

当社は、企業価値向上に向けた取り組みにおいて、2025年度(2026年3月期)よりスタートする第3次中期経営計画の2026年度(2027年3月期)までにPBR1倍以上を達成することを目標としています。その中で、成長戦略の一環とした事業ポートフォリオの変革において、注力事業と非注力事業の選別を行い、集中的に経営資源の投下を行うべく経営の効率化を推進しています。

当社パワーインダクター事業は、当社固有の磁性技術をベースとし特定市場での地位を確保していますが、当該部品事業領域では多くの電子部品メーカーが存在する中、自社の保有する技術だけでは今後将来的にグローバル市場全体の成長を取り込むことは困難と考えました。加えて、当社の中長期的な方向性においては、他技術・製品とのシナジーが弱く、新たなパートナーの下で固有磁性技術の最大限の活用を図り成長機会を最大化させると判断しました。

そうした中、パートナーの選定にあたり、今後大きく拡大が期待されるデータセンター需要への事業取り組みにおいて、当社との事業取引が多く、かつ長期にわたって信頼関係を構築しており、電源関連製品において業界をリードするデルタグループこそがベストと判断しました。このことにより当事業及び磁性材料を最大活用、そしてスケールメリットを享受できる当社にとって最大の魅力となり、また、デルタグループも当磁性材料の固有性能に着目していたことから、本吸収分割が両社の最大価値化につながると判断しました。

本吸収分割の概要は以下のとおりです。

①吸収分割の方式

当社を吸収分割会社とし、デルタ電子を吸収分割承継会社とする吸収分割です。

②吸収分割に係る割当ての内容

当社は、本吸収分割の対価としてデルタ電子から受領した101億円から留保額16億円(受領額の15%を留保額として預託)及び韓国国内の設備譲渡価額6億円を控除した79億円を受領しました。

③承継会社が承継する権利義務

デルタ電子は、本契約に定めるところに従い、本承継対象事業に関する資産、契約上の地位、知的財産権その他これに付随する権利義務を承継します。

④吸収分割承継会社の概要(2023年12月31日時点)

| | | |
|-----|-----------|-------------------------------------------------------------------------------|
| (1) | 名称 | デルタ電子株式会社 |
| (2) | 所在地 | 東京都港区芝大門二丁目1番14号 |
| (3) | 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 華 健豪 |
| (4) | 事業内容 | 情報、通信機器及び部品の輸入販売と輸出業務、産業オートメーション事業、エネルギーインフラストラクチャー事業、再生可能エネルギー関連、ソリューション事業関連 |
| (5) | 資本金 | 280百万円 |

| | | | |
|------|--------------|-----------------------------|---------------|
| (6) | 設立年月日 | 1991年6月 | |
| (7) | 純資産 | 1,097百万台湾ドル | |
| (8) | 総資産 | 3,271百万台湾ドル | |
| (9) | 大株主及び持分比率 | DELTA ELECTRONICS INC. 100% | |
| (10) | 上場会社と当該会社の関係 | 資本関係 | 該当なし |
| | | 人的関係 | 該当なし |
| | | 取引関係 | 特筆すべき事項はありません |
| | | 関連当事者への該当状況 | 該当なし |

(2) 分割する事業の概要

①分割する事業内容

DDR (Double Data Rate)、DIMM (Dual Inline Memory Module) 等の次世代半導体メモリー市場向け製品を含むパワーインダクター及び当該製品に使用される磁性材料の研究開発、製造、販売に関する事業

②分割する事業が含まれている報告セグメントの名称

センサー・コミュニケーション事業

③分割する事業の経営成績

(百万円)

| | パワーインダクター事業 (a) | 2024年3月期連結実績 (b) | 構成比率 (a/b) |
|-------|-----------------|------------------|------------|
| 売上高 | 2,988 | 964,090 | 0.3% |
| 売上総利益 | 1,073 | 166,072 | 0.6% |
| 営業利益 | 274 | 19,711 | 1.4% |

④対象事業における資産項目及び金額 (2024年12月31日時点)

(百万円)

| 資産 | |
|------|-------|
| 項目 | 帳簿価額 |
| 棚卸資産 | 300 |
| 固定資産 | 1,697 |
| 合計 | 1,998 |

(注) 対象資産の金額は現在集計中であり変動する可能性があります。

(3) 本吸収分割に伴う当社業績への影響

本吸収分割に伴い、2025年3月期の連結財務諸表において65億円の特別利益を計上する見込みです。また、受領価額のうち15%は留保額として本契約で定めるエスクロー口座へ保管され、条件を満たした場合には2027年3月期までに最大16億円の特別利益が計上される見込みです。なお、当該特別利益は現時点での見積り額であり変動する可能性があります。

3. その他

役員の異動（就退任予定日 2025年4月1日）

①昇任執行役員

| | | |
|--------|-------|-------------------------------------------------------|
| 常務執行役員 | 渡辺 好勝 | (現・執行役員 インフォテインメント&サウンド事業担当 兼 技術副担当 兼 アルパインブランド担当) |
|--------|-------|-------------------------------------------------------|

②新任執行役員

| | | |
|------|-------|--------------------------------------------------|
| 執行役員 | 桐生 真弓 | (現・ESG副担当 兼 サステナビリティ推進室長（部長） 兼 ガバナンス推進室長（部長）) |
|------|-------|--------------------------------------------------|

| | | |
|------|-------|----------------------------------------|
| 執行役員 | 福 富 康 | (現・ALPS ALPINE (CHINA) CO., LTD. 出向部長) |
|------|-------|----------------------------------------|

| | | |
|------|-------|----------------|
| 執行役員 | 米 山 博 | (現・モジュール事業副担当) |
|------|-------|----------------|

③退任予定執行役員

| | | |
|--|---------|---------------------------|
| | 元 川 康 司 | (現・執行役員 最高営業責任者 兼 車載営業担当) |
|--|---------|---------------------------|